

手賀沼ガシヤモク通信

No. 6

柏市鷲野谷へガシヤモク・ササバモを移植

ガシヤモク里親制度・流域小中学校への苗配布増殖事業などで増やした沈水植物を、手賀沼流域に移植し水生植物を再生させる取り組みが実施されている。

平成20年度には、モデル移植として複数の候補地において試験的な移植がなされた。これら試験移植による検討の結果、柏市鷲野谷地区の水路が、最も環境条件に恵まれていることが明らかとなった。

平成21年度は、ガシヤモク里親制度・流域小中学校への苗配布増殖事業のとりまとめとして、柏市鷲野谷地区の管理者のご理解とご協力を得て2009年8月18日に本移植を実施した。

これまでに流域学校に配布して育成してもらった株を、手水協事務局が少しずつ孫分けしてもらい、手賀沼親水広場水の館に事前準備した大型水槽に集結させ、移植しやすいように直植え可能な植物質繊維質ポットに植えて移植に供した。

移植実施日には、我孫子市立久寺家中学校の生徒たちが参加してくれ、用意した沈水植物ポット苗を鷲野谷水路に移植した。

先に試験移植したヤナギモは無事活着しており、今回の移植株も元気に育ってくれるものと期待される。



↑ 手水協の水生植物再生事業検討委員を担う浅間茂先生（千葉県立千葉高等学校）から移植用に仕込んでおいた沈水植物ポット苗を手渡される我孫子市立久寺家中学校生徒ら参加者。移植参加者は、30以上用意したポット苗を、それぞれ思い思いの場所に植え込んでいった。



活着しているヤナギモ



移植株を説明する浅間先生



手賀沼親水広場水の館にて事前準備した移植用ポット苗 30 個以上のほか、浅間茂先生が千葉県立千葉高等学校ビオトープにて育成してきたガシャモク・ササバモを大袋で大量に持ちこんでくださった。

☆ 流域学校にて育成された水生植物株のとりまとめ

手賀沼水環境保全協議会（手水協）が、手賀沼流域小中学校へガシャモク苗を配布し、学校で増やしてもらった株を2009（平成21）年8月18日（木）に柏市鷲野谷地区に移植することとなった。

これに向けガシャモク苗を育ててくださっている流域小中学校のなかから、手水協事務局からの問い合わせに移植用株提供を申し出てくださった右記の10校を7月8日～24日の間に巡った。各校から提供を受けた移植用の苗は、手賀沼親水広場水の館に準備した移植用苗調整水槽にて、ポット苗として整えて移植に備えた。

ガシャモク栽培の様子を連絡くれた学校（順不同）

- ・ 松戸市立金ヶ作小学校（松戸市金ヶ作）
- ・ 柏市立第四小学校（柏市松ヶ崎）
- ・ 柏市立手賀東小学校（柏市手賀）
- ・ 柏市立手賀中学校（柏市柳戸）
- ・ 柏市立柏第八小学校（柏市永楽台）
- ・ 柏市立名戸ヶ谷小学校（柏市名戸ヶ谷）
- ・ 流山市立東深井小学校（流山市東深井）
- ・ 流山市立向小金小学校（流山市向小金）
- ・ 我孫子市立布佐小学校（我孫子市布佐）
- ・ 我孫子市立湖北台東小学校（我孫子市湖北台）



松戸市立金ヶ作小学校



柏市立第四小学校



柏市立手賀東小学校



柏市立手賀中学校



我孫子市立布佐小学校



我孫子市立湖北台東小学校



柏市立名戸ヶ谷小学校



柏市立柏第八小学校



流山市立向小金小学校



流山市立東深井小学校



手賀沼親水広場水の館



水の館には大型水槽を2基用意して、各学校から株分けしてもらった沈水植物苗を集めて、ポット苗に仕込む作業基地とした。学校から集めた株は殖芽や根が十分に育った状態のものが多く、学校での栽培が上手に行われていたことがよくわかった（2009.8.2）

この「手賀沼ガシャモク通信 6号」は、「手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会」の会報「手賀沼マシジミ・ガシャモクだより」58号、59号から記事を一部抜粋して編集しています。

手賀沼ガシャモク通信 No. 6

平成 21 年 8 月 30 日発行

手賀沼水環境保全協議会

事務局

〒 260-8667 千葉市中央区市場町 1-1 千葉県環境生活部水質保全課湖沼浄化対策室

電話：043-223-3821 E-mail：suiho5@mz.pref.chiba.lg.jp